

## イエスは神なのか（4/4）

5.0

明:イエスが神ではないことを 明するバイブルのくだりを します（最 部）。

目:[事比 宗教イエス キリスト](#)

より: IslamReligion.com

日5 Oct 2010

集日 25 Oct 2010

27. バイブルは、イエスが二度に渡り神であると人々に主 されかけたにも わらず、彼自身それを否定したと述べています。

バイブルには二度の 面のみにおいて、イエスが神であると名 ったこと、または神と同等であると主 したことが原因で、ユダヤ教徒たちが彼に反 したことが述べられています。もしも本当にイエス（彼に神の慈悲と祝福あれ）が自身を神であると主 していたのであれば、それを元にした反 がもっと 繁にあったことでしょう。上 の二 面、つまり一度は彼自身が神であると、そしてまた の折には彼自身が神と同等であると主 したことに し、彼は を主 したのです。神との同等性に する主 に し、彼は直ちにこう述べています:

ヨハネ5: 19、30

“子は、父がしておられることを て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません。父がなさることは何でも、子も同 に行なうのです。”

そしてこの すぐに、こう述べています:

“私は、自分からは何事も行なうことができません。”

自らを神とするという主に、彼はユダヤ教徒にしてこう言っています：あなたがたの典はモーゼを神と呼び、あなたがたの行政官を神々と呼んでいるではありませんか。に私は彼らより劣った存在ではありませんが、私自身を神と言ったことはなく、ただ神の“子”であると言っただけなのです（ヨハネ10：34-36）。

これがイエスによるものであったことは考えにくいとされています。Hastingsによる“The Dictionary of the Bible（バイブル辞典）”によれば、“イエスが自分自身に、その言を用いたかどうかには疑いがあります。”と述べられています。またGrolierの辞典では、“イエスキリスト”の出しの下にこうあります：“にイエスによって父/子の表（マルコ18：32；マタイ11：25-27 par.；John passim）が使われていたのかどうかは、不定である。”またリッチモンド大学教授のロバートアリ博士は、新たにされた古代の文献研究の結果、このように付けています：

“イエスが神の子についてしている（バイブルの）数所は、世になって付け加えられたものでありそれは教会が彼について主とするものである。自らに神性を属させるそのような主は、我々が再び取ることの出来る、彼の人生全般において首尾一したのではないのだ。イエスの死三世に渡り、キリスト教はユダヤ教の一宗派として存していた。キリスト教会の初期三世はシナゴグ（ユダヤ教会）の一部だったのである。そういった状の中、彼ら（キリスト追者たち）が大胆にもイエスの神性を主していたというのはとても考えにくいことである。”

では、イエスが自分を神の“子”と名ったとしましょう。それは何を意味したでしょうか？ 私たちはまず、彼のりかけていた象、すなわち彼の代の人々であるユダヤ人たちの言にして知る必要があります。

まず、旧新において大半の人々は、イエス以外の他の人物にしては神の子の地位をめる、またはそれを否定するが一切存在しないと考えていますが、バイブルはイエスの他に何人もの“神の子たち”が存在していたとしています：例えばアダム、神の男とされるヤコブ、そしてソロモン、またエフライム、も神の男とされ、一般大さえも神の子供たちと呼ばれます

。また福音 全四 は、イエスがこのように述べたことを していま~~ず~~?????????????  
????????????????”

バイブルにおける“子”という表 は、神によって ばれた忠 なしもべを指す言 であるこ  
とが明白であり、神はそれらしもべたちの多くを“子”、“子供たち”と呼んでいる  
ため、逐 的に捉えられるべきではありません。ヘブライ人たちは文字通り子や妻を持  
たない神の唯一性を信じました。よって“神の子”という表 は、その信仰深い献身ゆ  
えにあたかも父と子のような である、“神のしもべ”を指していることは明らかなの  
です。ギリシャ、あるいは口 マから来たキリスト教徒たちは、 にこの言 を 用してしま  
いました。彼らの では、“神の子”とは神の化身や男女の神々の姿をして生まれた者  
のことを表していたのです。これは使徒行 14: 11 13において、パウロとバルナバがト  
ルコの町で布教した に、多神教徒たちが彼ら二人を神の化身と呼んだことから分か  
ります。彼らは口 マ神 にちなんでバルナバをゼウスと呼び、パウロをヘルメスと呼ん  
だのです。

さらに、新 で“子”と翻 されているギリシャ の“ピアス”または“パイダ”は、“し  
もべ”や、しもべに近いニュアンスを持つ“子”を意味しています。バイブルでは、  
これがイエスに しては“子”と翻 され、その他の者たちに しては“しもべ”と翻 され  
ています。このように、他の 々と照らし合わせてみれば、イエスはただ彼自身を神の  
しもべであると主 していたことが分かります。

### 三位一体におけるその他の

キリスト教においては、神は人 の姿になることによって人 の苦しみや 惑を理解しなけ  
ればなりませんでしたが、このような概念はイエスの明 な言 に基づいたものではありません。  
反 に、神は全能者かつ人 の 造主であるため、人 を理解し、その罪を赦すため  
に 惑を受けたり苦しみを味わったりする必要がないのです。この事 は以下の で述べら  
れています：

出エジプト 3： 7 “主は仰せられた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の みを  
かに 、追い使う者の前の彼らの叫びを いた。わたしは彼らの痛みを知っている。」”

神はイエスの出 以前から罪を赦して来ましたし、いかなる助けをも必要とせずに、これからも赦し けるのです。信仰者が罪を犯しても、神の御前で真 に赦しを い、悔悟すれば赦されるのです。 に、神の御前で し、救いを受ける 会は全人 に提供されているのです。

エザヤ 45: 21 22 (ヨナ 3: 5 10と比 のこと) “わたしの他に神はいない。正 の神であり救い主であるわたしをおいて他にはいない。地の果てのすべての者よ。わたしを仰ぎて救われよ。わたしが神である。他にはいない。”

バイブルにおいても、人々が真 に悔悟し、神に直接祈 をすることによって赦しを受けることは出来るのです。これはあらゆる 代、あらゆる 所において 用されます。 罪に してイエスの持つとされる、いわゆる神への り成しのような役割は、全く必要とはされないのです。真 は自ずと明らかになるものです。イエスが私たちの罪のために死に、救 がイエスによってのみもたらされるというキリスト教の信条は、真 味がありません。そうであればイエス以前の人々の救 はどうなるのでしょうか？ イエスの死によって罪がもたらされることもなければ、それによってバイブルの予言が されることもないのです。

キリスト教ではイエスの 生によって、神が人 の姿になるという奇 が起きたという主 をします。神が に人 の姿になったと言うことは、数々の疑 を呼び起こします。“人 の姿をした神であるイエス” に して、以下の いかけをしてみましょう：割礼 、彼の包皮はどうなってしまったのでしょうか (ルカ2: 21) ? それは天に昇ったのか、それとも人の肉体の一部がそうなるように、腐 した に分解されたのでしょうか？ 彼の生前、そのや爪、 口からの出血はどうなったのでしょうか？ 彼には通常の人 と同じようなな 胞 の死があったのでしょうか？ もしも彼の肉体が真の人 と同じように 能しなかったのであれば、彼は真の人 とは言えなかったはずであり、同 に真の神でもなかったと言えるでしょう。しかし、もしも彼の肉体が人 と全く同じ 能を持っていたのであれば、それは彼の神性に するいかなる主 をも とするのです。たとえ神の化身であれ、その一部が腐 や分解をしてもなお神と なされることは有り得ないことでしょう。唯一で不 の神は、あらゆる 点から死、分解、腐 などをする事はないのです：

マラキ3: 6 “主であるわたしは わることがない。”

イエスの肉体は彼の死、安置されたのでしょうか？ イエスの肉体がその生前に“腐”を しなかったのでもない限り、彼が神であることは不可能であり、もし“腐”をしなかったのであれば、彼は真の人 ではなかったことになります。

---

#### Footnotes:

1 “アダムは神の子である。”（ルカ3：38）

2 “イスラエルはわたしの子、わたしの初子である。”（出エジプト 4：22）

3 “わたしは彼にとって父となり、彼はわたしにとって子となる。”（第二サムエル7：14）

4 “わたしはイスラエルの父となろう。そしてエフライムはわたしの子である。”（エレミヤ31：9）

5 “あなたがたは、あなたがたの神、主の子どもである。”（申命 14：1）

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/32>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。